



# MBニュース



## 【2015年度中国産草菇・オイスターマッシュルーム情報】

丸松物産株式会社

2015年度産の草菇・オイスターマッシュルームの生産は6月末で終了しました。草菇の収穫量、原料価格は昨年並みで、安定していると仕入先より報告が参りました。オイスターマッシュルームは昨年並の収穫量であったが、中国国内の消費が低迷しており、輸出の出荷量も落ち込んでいることから、原料価格は約10%安くなっております。しかしながら、約10%上昇の人件費や資材の上昇、為替(昨年102円、今年123円、21%アップ)の影響から製品価格を下げる事は難しく、昨年並みになると見込まれております。弊社としましては、今後も適切な仕入交渉を行い、安定供給に努める所存でおります。

## 【2015年度産麻筍情報②】

先月号では弊社中国工場からの産地情報をお伝えしましたが、弊社仕入先より新たな情報が参りましたのでご報告致します。7月に入り生産地の広東省福建省では天候被害も無く、順調に収穫されていると報告が参りました。しかし生筍の国内需要は依然として増加傾向にあり、人件費、資材の上昇、また産地は高温多湿の環境のため、賃金を上乗せしても収穫農家では人手が集まらない状況もあり、新物の仕入価格は安くならないと見込まれております。今後とも、引き続き産地情報を収集して、続報を報告致します。

(麻筍栽培風景)



## 【中国各地が上半期の可処分所得を発表、最高は上海】

中国各地の2015年上半期の、住民の所得データが相次いで発表された。記者の統計によると、7月26日の時点で、全国の少なくとも27地区が同データを発表した。そのうち上海市の都市部住民の1人当たり可処分所得は2万6664元(1元は約19.84円)、農村部は1万3346元で全国一となった。中国新聞網が伝えた。

国家統計局のデータによると、全国の都市部住民の、今年上半期の1人当たり可処分所得は1万5699元に達し、価格要因を除いた実施伸び率は6.7%。農村部は5554元、実質伸び率は8.3%。

すでにデータが発表されている27地区のうち、上海市の都市部住民の1人平均可処分所得が2万6664元で最高になった。北京市は2万6171元で2位、浙江省は2万2640元で3位。1人当たり可処分所得が2万元を突破したのは、この3地区のみとなっている。都市部住民の1人当たり可処分所得が現時点で最下位なのは甘肅省で、1万1243元に留まった。(編集YF)

「人民網日本語版」2015年7月27日より抜粋

「可処分所得とは」

労働対価として得た給与やボーナスなどの個人所得から、支払義務のある税金や社会保険料などを差し引いた、残りの手取り収入の事。

## 【新商品情報】

	商品名	味付メンマ台湾 (元祖) 1kg×10入り	
	商品説明	発酵・熟成を十分に行い、メンマ独特の風味・旨味を引きだし、しなやかな食感の昔ながらのメンマを復活させました。 「台湾産原料使用」・「国内製造」	
	主要原材料	メンマ	
	賞味期限	製造日より6カ月	
	使用上の注意	賞味期限は、未開封の状態を基準としています。保存料は使用しておりませんので開封後は冷蔵庫(10℃以下)に入れ、5日以内にお召し上がり下さい。	